

# 静岡県月例経済報告

(令和元年9月号)

……令和元年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 521

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・需要面 .....	4
・生産面 .....	12
・雇用面 .....	14
・その他 .....	17
III 静岡県主要産業の動向 .....	21
IV データからみた県内主要産業 .....	24

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、令和元年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

令和元年7月を中心とした静岡県の景気は、一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、輸出、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が一服している。
- ・ 生産は、増勢が一服している。

## 需要面

### 「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(7月)は、百貨店が11か月連続、スーパーが4か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(7月)は、家電大型専門店が6か月ぶり、コンビニエンスストアが9か月ぶり、ドラッグストアが29か月ぶり、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも14か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(7月)は、乗用車が2か月ぶり、軽自動車が4か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(7月)は、持家が11か月ぶり、貸家が2か月ぶり、分譲住宅が5か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(7月)は、4か月連続で前年実績を上回った。

### 「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(令和元年7月1日)の令和元年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(7月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、増勢が一服している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（7月）は、エアコンが5か月連続、自動車、自動車の部分品がいずれも4か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が3か月連続、二輪自動車類が5か月ぶり、科学光学機器が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額（7月）は、魚介類及び同調製品、木材がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品が3か月ぶり、原動機が4か月連続で前年実績を上回ったものの、パルプが2か月ぶり、自動車の部分品が4か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,161億円の輸出超過となった。

## 生産面

「生産は、増勢が一服している」

鉱工業生産指数（6月）は、はん用・生産用・業務用機械が11か月連続、化学が2か月ぶり、食料品・たばこが4か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械が18か月ぶり、輸送機械が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品が4か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも12か月ぶりに前年水準を下回った。また、前月比は2か月ぶりに低下した。

なお、鉱工業在庫指数（6月）は、総合では2か月ぶりに前年水準を上回った。

## 雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（7月）は1.57倍で、前月を0.01ポイント上回った。また、66か月連続で1倍を上回った。なお、4か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（7月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（6月）は、5か月連続で前年実績を下回った。

## その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（7月）は、前年同月比 1.9%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（7月）は、前年同月比 18.5%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（8月）は、件数は12件（前年同月比 45.4%減）、負債総額は14億5,800万円（同 37.3%減）といずれも前年実績を下回った。

## <トピックス> ICT人材の確保・育成～TECH BEAT Shizuoka開催結果～

7月24日及び25日に開催した「TECH BEAT Shizuoka」において首都圏を中心としたICTスタートアップ・ベンチャーと県内企業とのビジネスマッチングを行った。

### 1 「TECH BEAT Shizuoka」の開催概要

【開催日】 2019年7月24日（水）、25日（木）

【会場】 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

【内容】 ○ 基調講演

○ スタートアップ・ベンチャー等のブース出展

○ 出展企業等による自社PRプレゼンテーション

○ 県内企業を対象としたAI・ICT入門セミナー

○ ビジネスマッチング、商談 ほか



### 2 「TECH BEAT Shizuoka」の開催結果

【参加状況】 111社（スタートアップ・ベンチャー56社、商談希望県内企業55社）

【入場者数等】

区分	7/24	7/25	合計
入場者数	約1,800人	約1,500人	約3,300人
商談件数	170件	158件	328件

※商談希望件数706件、残り378件は年内を目処にフォローアップを実施

### 3 参加企業からの意見・評価

首都圏 スタートアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内企業の経営者層が多数来場しており、すぐに次のステップにつながるような商談ができた。</li> <li>・ 首都圏から近いにも関わらず、これまで静岡県との接点がなかなか持てずにいた。今回をきっかけに販路拡大を進めていきたい。</li> <li>・ BtoB向けの高単価な商品を扱うスタートアップにとって、大手企業と会える機会はとても貴重である。</li> <li>・ マッチングだけでなく、部課長クラスがふらっとブースに寄ってくれるのが、こうした地域密着型イベントの良いところだと思う。</li> </ul>
県内企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加したベンチャー企業は静岡県内にはないレベルのものが多かった。すぐにでも自社の問題解決につながる話をたくさん聞くことができた。</li> <li>・ 良い試みだと思うし、来年もぜひ開催してもらいたい。続けることで静岡が変わる可能性がある。大手との連携、中小企業とのマッチング等にも繋がり面白いイベントである。もっと広く広告し、ブランド化を図って、イベントの拡大にも期待したい。</li> <li>・ 大変刺激的で、良い意味で静岡らしくない新しさを感じた。世界のスピード感を知ることができた。</li> <li>・ 大人と若者とで相乗効果が起きるかもしれない。学生にとっては勉強の場となるし、もっと若い人（高校生や中学生など）にも参加してほしい。</li> <li>・ 「農業」、「医療・介護」、「食品」等とテクノロジーの融合に関する情報を知りたい。</li> </ul>

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

7月 = 33,415百万円

\*前年同月比： 5.8%減

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

7月の大型小売店販売額は33,415百万円で、前年同月比 5.8%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 8.8%減）が11か月連続、スーパー（同 5.0%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 12.1%減）が4か月連続、身の回り品（同 11.6%減）が7か月連続、飲食料品（同 3.2%減）が3か月連続、家庭用品（同 12.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は5.1%減と、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
販売額(百万円)	43,100	34,284	29,545	34,354	31,906	32,493	33,195	33,415
前年同月比(%)	0.6	▲6.5	▲4.5	1.7	▲2.0	▲2.4	▲2.0	▲5.8
うち百貨店(%)	▲2.8	▲3.5	▲0.9	▲1.1	▲3.3	▲8.6	▲5.4	▲8.8
スーパー(%)	1.6	▲7.3	▲5.3	2.4	▲1.7	▲0.9	▲1.2	▲5.0
(参考1)全国前年同月比(%)	▲1.0	▲3.3	▲1.8	0.6	▲1.8	▲0.5	▲0.5	▲4.8
うち百貨店(%)	▲1.3	▲3.3	▲0.1	▲0.2	▲1.5	▲1.1	▲1.2	▲3.3
スーパー(%)	▲0.8	▲3.4	▲2.7	1.0	▲1.9	▲0.2	▲0.1	▲5.5
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.3	▲5.8	▲4.1	3.1	▲1.0	▲1.4	▲0.5	▲5.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
衣料品	▲2.1	▲6.7	▲7.2	0.8	▲7.3	▲2.4	▲2.2	▲12.1
うち紳士服・洋品	▲1.6	▲9.7	▲9.9	4.7	▲6.8	▲0.1	▲3.4	▲13.7
婦人・子供服・洋品	▲1.8	▲4.6	▲7.0	▲0.4	▲7.7	▲2.5	▲2.0	▲11.3
身の回り品	6.4	▲4.5	▲0.9	▲1.3	▲8.2	▲6.7	▲4.4	▲11.6
飲食料品	1.5	▲6.1	▲4.2	2.1	0.3	▲1.7	▲1.4	▲3.2
家庭用品	▲4.8	▲15.0	▲8.9	6.4	▲2.4	▲2.5	2.9	▲12.6
うち家庭用電気機械器具	0.7	▲1.5	1.4	14.6	12.2	16.0	17.6	▲13.1

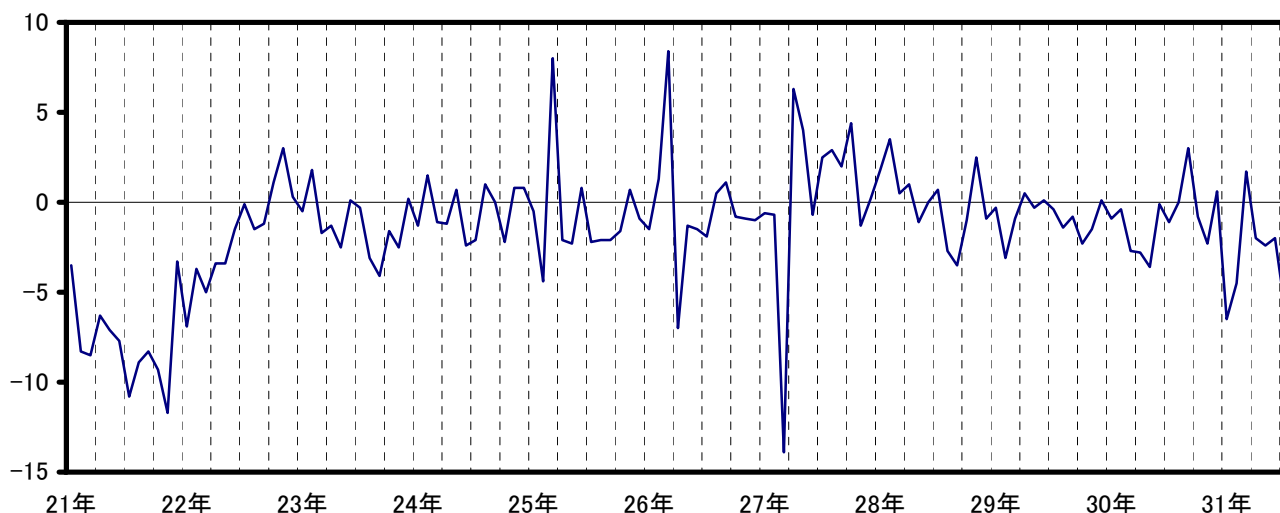
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

7月 = 72,912百万円

\*前年同月比： 5.1%減

(県内87家電大型専門店、1,694コンビニエンスストア、496ドラッグストア、105ホームセンター合計)

<概況>

7月の専門量販店等販売額は72,912百万円で、前年同月比 5.1%減となり、14か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 14.6%減）が6か月ぶり、コンビニエンスストア（同 3.5%減）が9か月ぶり、ドラッグストア（同 0.4%減）が29か月ぶり、ホームセンター（同 10.3%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
販売額(百万円)	78,121	66,381	60,495	71,028	67,913	69,548	68,690	72,912
前年同月比(%)	2.5	2.6	3.0	3.8	1.9	3.4	2.9	▲5.1
うち 家電大型専門店(%)	3.7	▲0.5	0.8	5.5	0.8	7.2	8.4	▲14.6
コンビニエンスストア(%)	2.1	1.9	2.8	0.9	2.0	2.1	1.1	▲3.5
ドラッグストア(%)	4.4	6.3	5.6	8.5	4.8	5.0	4.6	▲0.4
ホームセンター(%)	0.1	▲1.1	▲1.7	0.6	▲4.2	1.2	▲0.5	▲10.3
(参考)全国前年同月比(%)	3.0	2.2	2.7	3.0	1.6	4.3	3.1	▲3.0

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

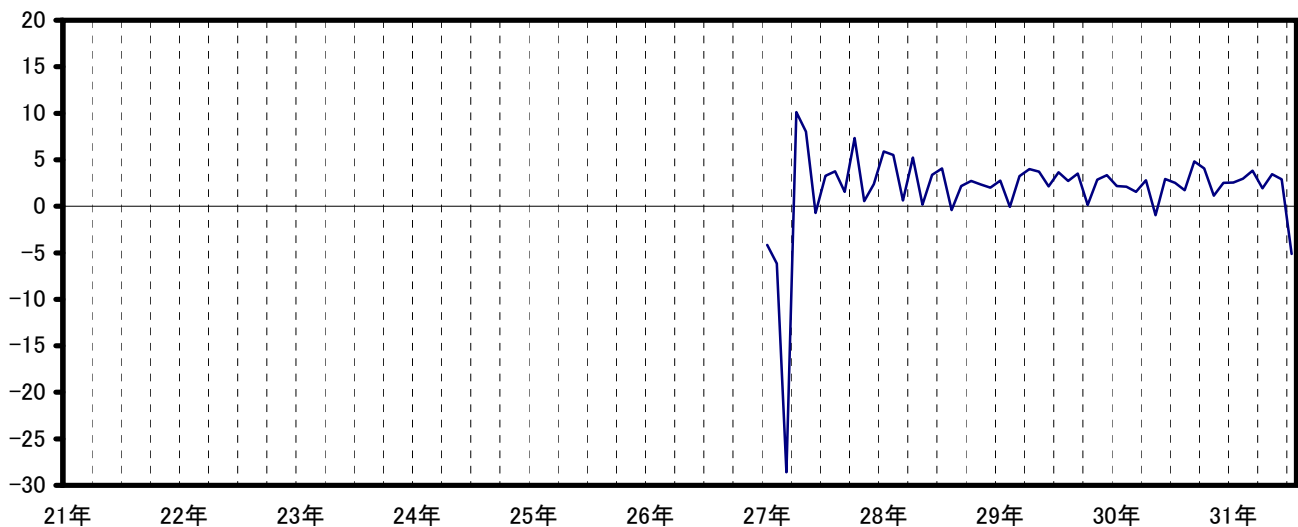
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

7月 = 15,791 台

\*前年同月比： 8.0%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は15,791台(前年同月比 8.0%増)と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 6.5%増)が2か月ぶり、軽自動車(同 9.9%増)が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
登録台数(台)	13,208	15,664	17,761	22,140	12,617	13,456	15,436	15,791
前年同月比(%)	1.2	2.0	▲0.7	▲4.6	6.2	9.1	▲1.2	8.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.2	0.9	▲0.1	▲5.3	3.3	6.4	▲2.2	2.9

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

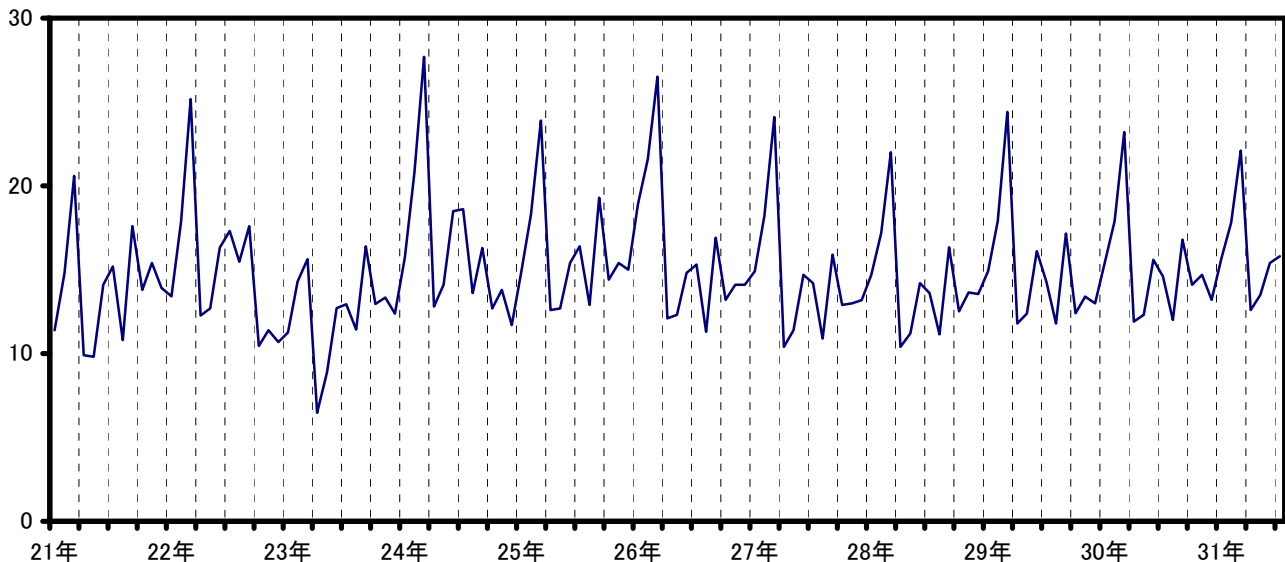
	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
全乗用車	1.2	2.0	▲0.7	▲4.6	6.2	9.1	▲1.2	8.0
乗用車	▲2.4	3.2	▲2.9	▲7.3	4.3	3.1	▲5.3	6.5
軽自動車	6.0	0.7	2.0	▲1.1	8.4	17.0	4.0	9.9

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車



## 2 新設住宅着工戸数

7月 = 1,821 戸

\*前年同月比： 21.1%減

### <概況>

7月の新設住宅着工戸数は1,821戸で、前年同月比 21.1%減と、3か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 2.8%減）が11か月ぶり、貸家（同 33.0%減）が2か月ぶり、分譲住宅（同 45.2%減）が5か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

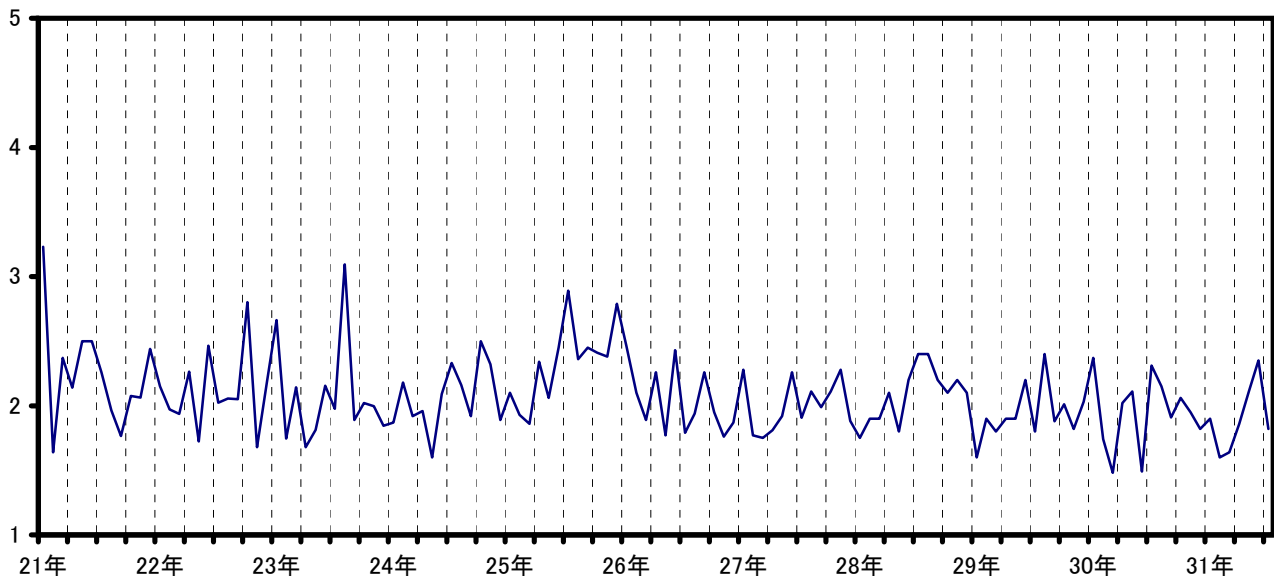
	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
戸数 (戸)	1,821	1,897	1,603	1,642	1,855	2,110	2,349	1,821
前年同月比 (%)	▲ 10.4	▲ 19.9	▲ 8.0	10.7	▲ 7.9	0.1	57.8	▲ 21.1
うち持家 (%)	2.7	1.9	7.7	8.6	0.1	11.0	34.5	▲ 2.8
貸家 (%)	▲ 25.3	▲ 11.8	▲ 8.4	15.8	▲ 35.0	▲ 26.6	96.6	▲ 33.0
分譲住宅 (%)	▲ 15.6	▲ 61.1	▲ 36.7	8.1	23.8	20.4	74.7	▲ 45.2
(参考)全国前年同月比 (%)	2.1	1.1	4.2	10.0	▲ 5.7	▲ 8.7	0.3	▲ 4.1

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

7月 = 42,486百万円

\*前年同月比：42.9%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

7月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は42,486百万円で、前年同月比42.9%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は881件で、前年同月比1.0%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
金額(百万円)	22,329	9,431	10,706	14,499	81,539	32,518	41,211	42,486
前年同月比(%)	70.9	▲1.5	28.6	▲11.4	32.7	6.0	35.3	42.9
年度累計前年同月比(%)	11.8	11.3	11.8	10.5	32.7	23.8	26.6	29.8
件数(件)	719	315	166	268	559	573	670	881
前年同月比(%)	3.6	▲14.6	▲10.3	37.4	▲4.6	1.6	▲5.2	1.0
年度累計前年同月比(%)	3.5	2.6	2.3	3.2	▲4.6	▲1.6	▲3.0	▲1.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

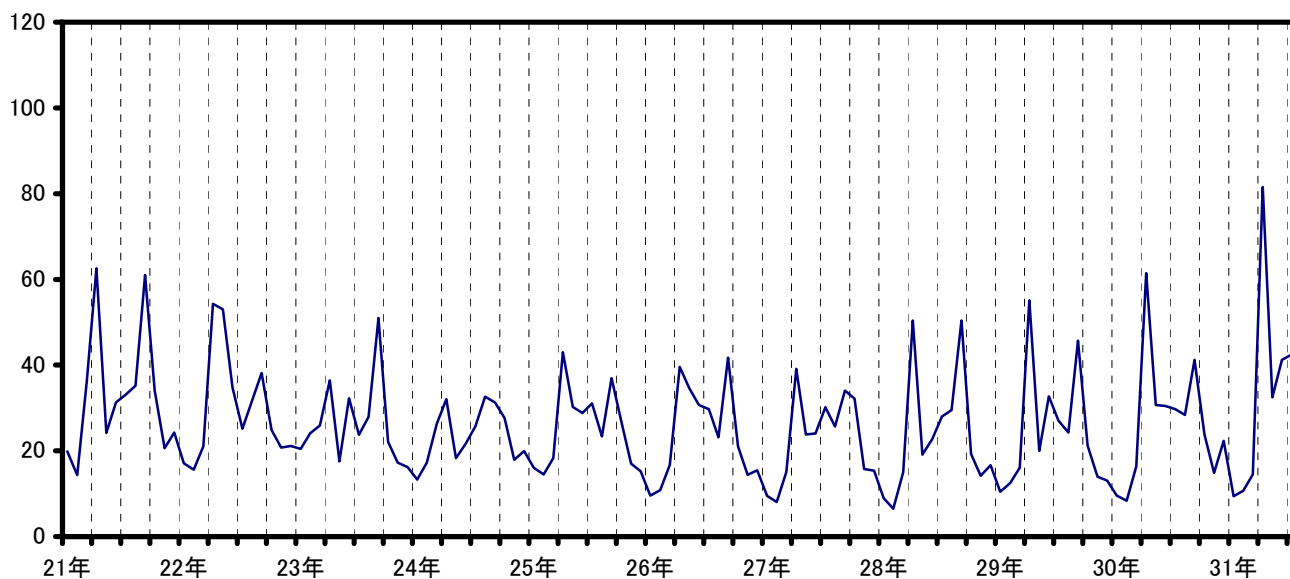
	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
国	8,054.0	130.2	58.0	43.6	64.0	▲61.3	1.0	27.0
独立行政法人等	▲4.1	▲4.8	▲21.9	▲79.9	53.4	206.6	162.1	44.7
県	18.4	▲62.0	35.0	▲49.5	▲14.7	16.6	22.6	43.4
市町	98.3	68.3	35.2	34.1	42.6	66.0	0.9	46.5
地方公社	912.0	▲98.3	-	-	2.1	▲94.4	974.1	351.9
その他	511.2	14.7	19.1	647.0	34.2	▲56.3	308.9	59.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で減少、非製造業で増加し、全産業で増加の実績となっている。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の実績となっている。

令和元年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 24.3%増）で増加、非製造業（同 2.8%減）で減少し、全産業（同 10.6%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 13.3%増）で増加、非製造業（同 0.5%減）で減少し、全産業（同 9.5%増）では増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は106,559㎡で、前年同月比 62.6%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		30年度 (実績)	R1年度 (計画)
全産業	県	(▲4.2) 5.7	(0.3) 10.6
	全国	(▲3.5) 6.6	(1.7) 2.3
製造業	県	(▲7.8) ▲2.1	(▲0.6) 24.3
	全国	(▲2.2) 8.6	(3.2) 7.7
非製造業	県	(▲0.3) 14.7	(1.5) ▲2.8
	全国	(▲4.2) 5.4	(0.7) ▲0.8

### （ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		30年度 (実績)	R1年度 (計画)
全産業	県	(▲3.7) 7.2	(0.4) 9.5
	全国	(▲3.6) 5.1	(1.5) 5.7
製造業	県	(▲5.1) 4.4	(▲0.4) 13.3
	全国	(▲2.4) 5.8	(2.1) 6.7
非製造業	県	(0.0) 15.3	(2.8) ▲0.5
	全国	(▲4.8) 4.4	(0.8) 4.6

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和元年6月調査)」

### <最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	212,110	68,477	153,005	76,766	79,421	149,579	162,872	106,559
前年同月比（%）	94.6	▲ 21.0	24.1	21.0	▲ 19.9	▲ 16.8	19.7	▲ 62.6
(参考) 全国前年同月比（%）	15.3	1.0	▲ 15.1	▲ 19.3	▲ 4.0	▲ 0.5	1.7	0.4

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	31年3月	R1年6月	R1年9月 (予測)
全産業	11	5	0
製造業	9	2	▲5
非製造業	13	9	6
(参考) 全国・全産業	12	10	4

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和元年6月調査)」

## 5 輸出

7月 = 207,661百万円

\*前年同月比： 13.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は207,661百万円で、前年同月比 13.6%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 7.9%減）が5か月連続、自動車（同 5.8%減）、自動車の部分品（同 14.7%減）がいずれも4か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 16.4%増）が3か月連続、二輪自動車類（同 10.0%増）が5か月ぶり、科学光学機器（同 43.8%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 1.7%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 58.6%増）が4か月連続、EU向け（同 11.4%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
輸出総額(百万円)	211,171	151,102	180,525	201,905	170,166	152,438	176,958	207,661
前年同月比(%)	6.0	▲4.0	3.6	8.0	▲9.7	▲3.6	▲8.4	13.6

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
原動機	15.9	▲0.9	10.9	8.6	▲4.6	22.3	14.8	16.4
エアコン	16.6	▲5.0	30.4	▲13.5	▲16.0	▲7.8	▲28.8	▲7.9
自動車	10.0	165.9	▲13.5	77.2	▲38.3	▲27.5	▲18.9	▲5.8
自動車の部分品	▲4.9	▲13.2	▲7.6	0.8	▲13.0	▲13.0	▲17.4	▲14.7
二輪自動車類	▲0.5	▲8.6	2.7	▲15.7	▲31.8	▲13.2	▲16.0	10.0
科学光学機器	▲30.7	▲17.6	5.0	25.0	25.9	0.0	19.4	43.8

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
アジア	▲2.8	▲12.2	2.5	5.1	▲4.0	▲4.1	▲13.2	▲1.7
米国	2.4	▲4.3	8.1	▲0.1	3.4	3.9	2.1	58.6
EU	17.6	20.0	7.0	30.6	▲24.0	▲5.3	6.8	11.4

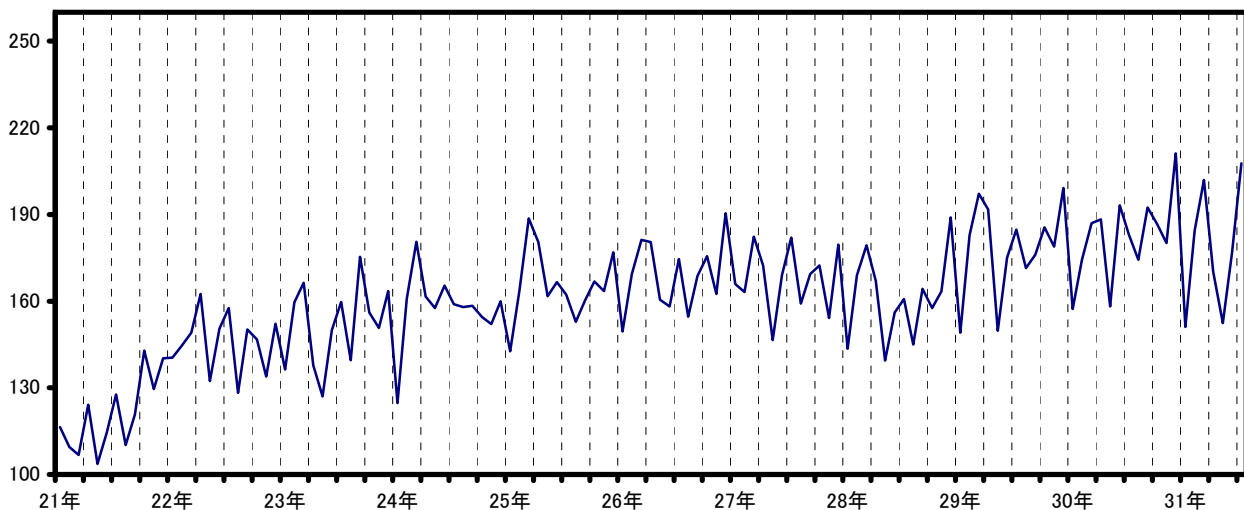
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

7月 = 91,543百万円

\*前年同月比： 4.6%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は91,543百万円で、前年同月比 4.6%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 4.3%増）、木材（同 14.8%増）がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品（同 24.7%増）が3か月ぶり、原動機（同 34.9%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、パルプ（同 38.3%減）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 41.8%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（前年同月比 46.2%増）が3か月連続、EUから（同 12.3%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジアから（同 3.3%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
輸入総額(百万円)	100,856	104,381	77,463	90,871	101,284	95,915	87,415	91,543
前年同月比(%)	13.1	16.2	▲9.1	15.3	8.0	▲2.4	▲0.5	▲4.6

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
魚介類及び同調製品	4.3	▲7.3	0.7	▲21.4	21.8	9.1	▲18.9	4.3
木材	▲12.0	8.7	▲26.3	2.1	1.6	19.4	▲3.0	14.8
パルプ	▲27.5	37.5	▲29.0	▲16.1	▲3.8	▲5.7	6.3	▲38.3
紙類及び同製品	8.8	37.1	▲11.0	9.7	17.9	▲2.2	▲1.5	24.7
原動機	▲1.2	87.9	36.4	▲10.4	45.7	10.0	60.3	34.9
自動車の部分品	61.6	▲6.0	6.8	2.7	▲14.0	▲11.9	▲16.8	▲41.8

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

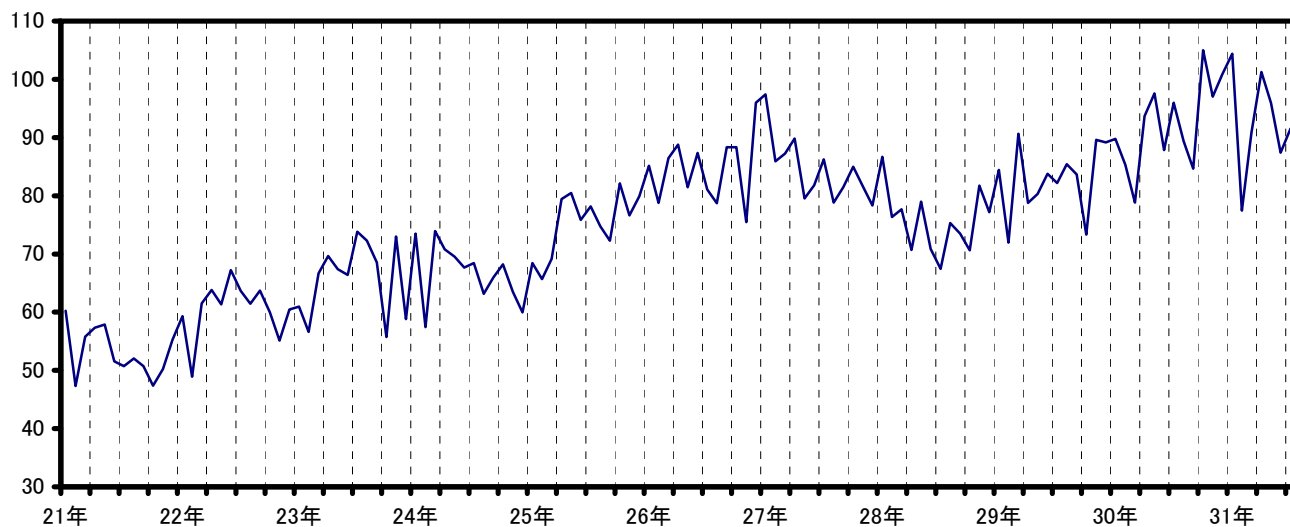
	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
アジア	9.3	11.0	3.5	13.8	8.9	▲8.0	0.9	▲3.3
米国	▲2.8	16.4	▲27.1	22.5	▲20.4	13.9	51.3	46.2
EU	▲7.4	▲14.0	17.1	▲4.0	42.2	9.0	▲20.0	12.3

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

6月 = 98.5

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 4.7%減

\*前年同月比(原指数) : 6.2%減

#### <概況>

6月の鉱工業生産指数(総合)は98.5(季節調整済指数)で、前月比4.7%減と、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は6.2%減と、12か月ぶりに前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比1.4%増)が11か月連続、化学(同0.8%増)が2か月ぶり、食料品・たばこ(同1.0%増)が4か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同3.1%減)が18か月ぶり、輸送機械(同18.6%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同5.3%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
指数	107.7	107.1	104.0	101.1	105.6	103.2	103.4	98.5
前月比(%)	▲1.2	▲0.6	▲2.9	▲2.8	4.5	▲2.3	0.2	▲4.7
前年同月比(%)	5.2	2.1	4.6	0.5	0.0	3.3	1.8	▲6.2
(参考)全国前年同月比(%)	1.5	▲1.9	0.0	▲1.0	▲4.6	▲1.1	▲1.8	▲4.1

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	6.0	1.6	19.0	6.7	1.0	17.2	16.2	1.4
電気機械工業	11.3	6.8	13.2	13.9	1.2	1.3	4.5	▲3.1
輸送機械工業	2.1	0.7	0.0	▲5.6	▲3.9	▲1.3	▲4.4	▲18.6
化学工業	9.7	▲0.8	1.1	4.4	0.0	11.1	▲5.3	0.8
パルプ・紙・紙加工品工業	2.6	▲3.3	0.1	1.0	▲2.4	▲2.6	▲6.0	▲5.3
食料品・たばこ工業	4.8	3.4	4.8	▲4.6	7.0	1.3	10.7	1.0

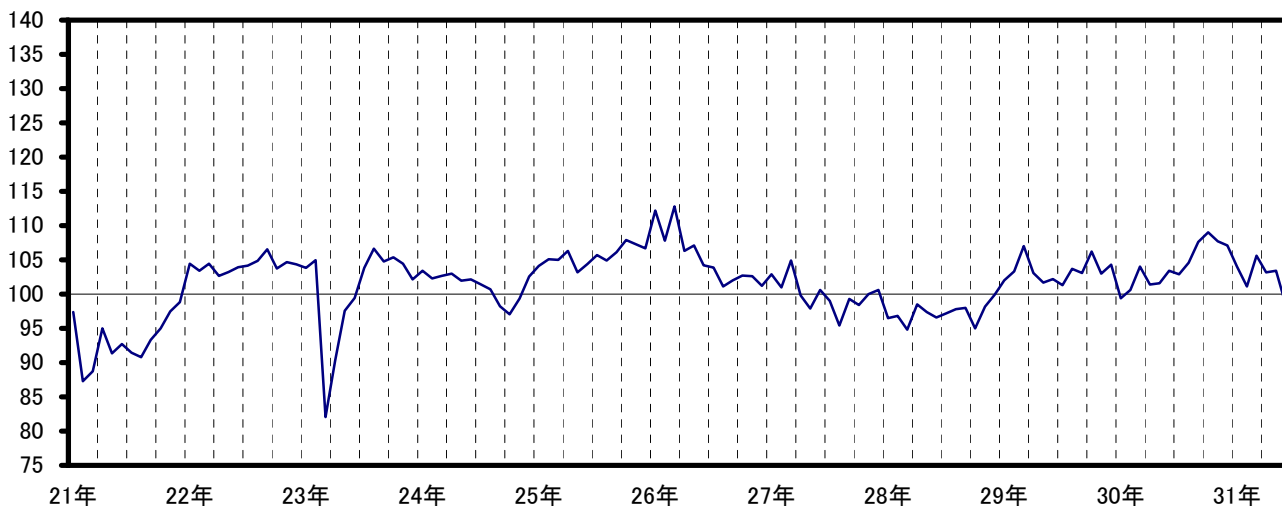
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鋳工業在庫指数

6月 = 105.0

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.3%減

\*前年同月比(原指数) : 0.7%増

### <概況>

6月の鋳工業在庫指数(総合)は105.0(季節調整済指数)で、前月比は1.3%減と、3か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は0.7%増と、2か月ぶりに前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比 32.8%減)が6か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 19.9%増)が6か月連続、電気機械(同 9.0%増)が2か月連続、化学(同 8.4%増)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 2.2%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同 7.8%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
指数	108.5	114.1	108.8	108.1	114.8	111.4	106.4	105.0
前月比(%)	▲ 2.3	5.2	▲ 4.6	▲ 0.6	6.2	▲ 3.0	▲ 4.5	▲ 1.3
前年同月比(%)	1.9	9.9	4.8	0.2	2.1	3.2	▲ 2.3	0.7
(参考)全国前年同月比(%)	0.6	1.9	1.2	1.4	0.4	1.2	1.6	2.9

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.6	▲ 0.7	12.2	13.7	16.6	29.3	26.2	19.9
電気機械工業	▲ 7.8	▲ 3.8	4.4	1.0	0.3	▲ 0.3	9.9	9.0
輸送機械工業	▲ 9.0	0.8	▲ 25.1	▲ 41.4	▲ 38.2	▲ 32.4	▲ 35.0	▲ 32.8
化学工業	15.4	56.7	36.1	26.1	15.2	9.6	▲ 8.2	8.4
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 7.2	▲ 11.1	▲ 6.7	▲ 4.0	▲ 1.5	▲ 3.1	1.3	2.2
食料品・たばこ工業	14.1	4.2	0.9	▲ 7.7	12.5	13.2	4.3	7.8

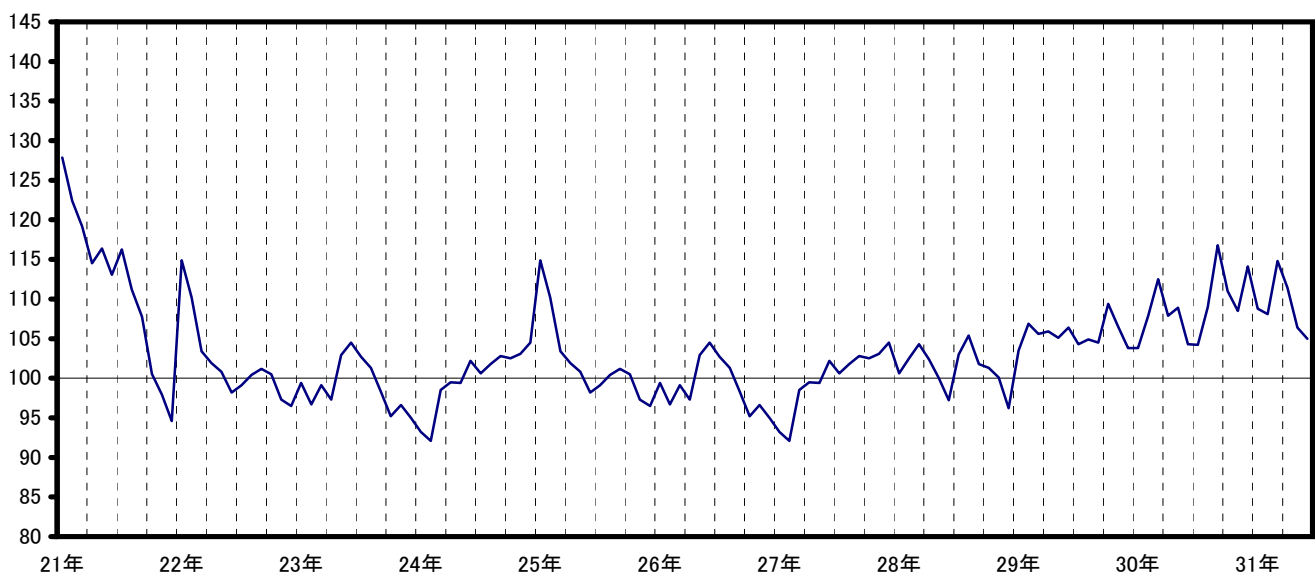
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**7 月 = 1.57倍**

\*前月比 (季節調整値) : 0.01ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概 況>

7月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.57倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、4か月連続で全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比 5.9%減)は11か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、医療・福祉(前年同月比 0.1%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同 9.6%減)が5か月連続、製造業(同 7.9%減)が8か月連続、情報通信業(同 24.6%減)が11か月連続、運輸業・郵便業(同 9.8%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同 15.4%減)がいずれも3か月連続、卸売業・小売業(同 0.9%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
県	1.66	1.69	1.69	1.67	1.61	1.56	1.56	1.57
全 国	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63	1.62	1.61	1.59

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
建 設 業	▲ 12.1	▲ 10.0	9.0	▲ 15.2	▲ 4.9	▲ 2.2	▲ 7.7	▲ 9.6
製 造 業	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 0.4	▲ 11.6	▲ 6.5	▲ 18.3	▲ 11.2	▲ 7.9
情 報 通 信 業	▲ 8.7	▲ 45.5	▲ 11.8	▲ 10.7	▲ 41.5	▲ 8.4	▲ 24.1	▲ 24.6
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 8.8	3.4	▲ 2.5	7.8	0.1	▲ 6.2	▲ 3.8	▲ 9.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	19.3	▲ 11.1	▲ 11.9	7.2	▲ 25.4	▲ 16.2	4.7	▲ 0.9
医 療 ・ 福 祉	▲ 0.6	▲ 12.1	▲ 3.0	▲ 1.8	▲ 6.2	▲ 0.4	3.8	0.1
サービス業(他に分類されないもの)	▲ 26.1	11.4	▲ 13.0	▲ 15.3	1.7	▲ 29.8	▲ 11.8	▲ 15.4
合 計	▲ 6.9	▲ 3.1	▲ 2.3	▲ 6.6	▲ 5.8	▲ 12.1	▲ 4.7	▲ 5.9

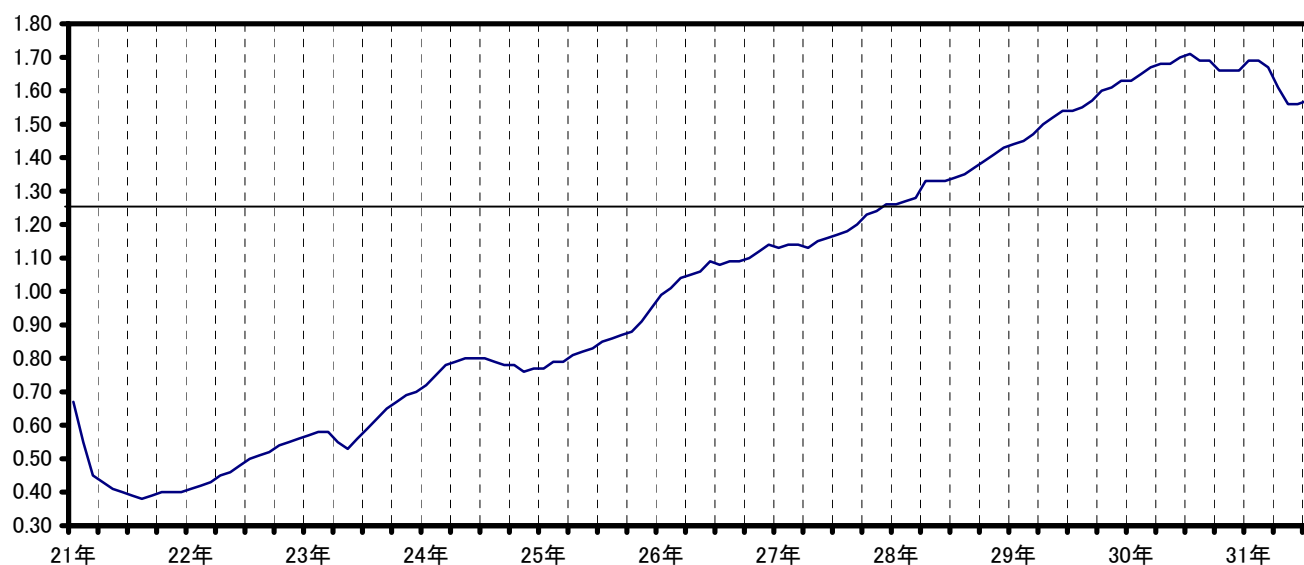
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省





(2) 雇用保険受給者実人員

7月 = 11,426人

\*前月比: 7.4%増

\*前年同月比: 4.1%増

<概況>

7月の雇用保険受給者実人員は11,426人で、前月比は7.4%増と、2か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は4.1%増と2か月連続で前年実績を上回った。  
 完全失業率(全国)は2.2%で、前月から0.1ポイント改善した。  
 静岡県(平成31年4月~令和1年6月)の完全失業率は2.0%で、前期(31年1月~3月)から0.3ポイント悪化した。

<最近の動き>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
実人員(人)	9,577	9,922	9,522	9,466	9,725	10,787	10,637	11,426
前月比(%)	▲6.1	3.6	▲4.0	▲0.6	2.7	10.9	▲1.4	7.4
前年同月比(%)	▲6.8	▲2.3	▲1.1	0.1	5.3	▲0.5	1.2	4.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.7	1.4	1.8	0.8	6.6	▲0.3	2.1	4.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
完全失業率(全国)(%)	2.4	2.5	2.3	2.5	2.4	2.4	2.3	2.2

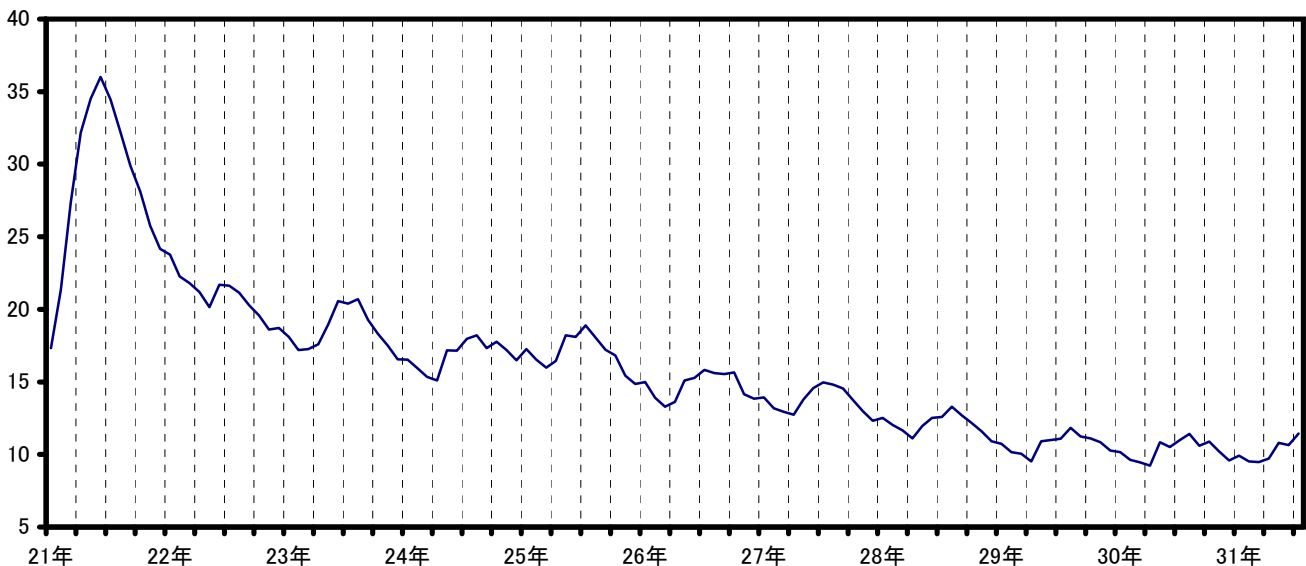
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

6月 = 84.1

\*前月比(季節調整済指数): 4.4%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 11.1%減

#### <概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は84.1(季節調整済指数)で、前月比4.4%減となった。また、前年同月比(原指数)は11.1%減と5か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比103.2%増)が2か月ぶり、情報通信業(同25.5%増)が20か月連続、卸売業・小売業(同10.7%増)が8か月連続、その他のサービス業(同1.4%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同18.4%減)が8か月連続、運輸業・郵便業(同8.1%減)が7か月連続、医療・福祉(同17.7%減)が6か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
指数	97.3	91.5	95.1	95.2	92.9	92.4	88.0	84.1
前月比(%)	0.9	▲6.0	3.9	0.1	▲2.4	▲0.5	▲4.8	▲4.4
前年同月比(%)	▲7.7	▲8.7	2.4	▲0.7	▲1.6	▲1.5	▲8.9	▲11.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.7	▲3.0	0.9	0.8	▲0.8	0.8	0.0	▲0.8

\*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月
建設業	▲52.6	▲49.0	163.6	159.3	151.5	94.7	▲69.9	103.2
製造業	▲3.3	▲3.6	▲5.4	▲6.4	▲9.7	▲10.1	▲9.8	▲18.4
情報通信業	88.8	71.4	57.5	52.6	60.9	77.5	20.3	25.5
運輸業・郵便業	1.5	▲2.7	▲3.7	▲17.8	▲3.6	▲2.4	▲5.5	▲8.1
卸売業・小売業	21.0	11.7	11.6	15.7	4.3	3.6	24.3	10.7
医療・福祉	2.8	▲11.7	6.1	30.1	40.8	20.9	35.5	▲17.7
その他のサービス業	▲2.4	4.2	20.8	11.0	15.6	0.0	21.7	1.4
調査産業計	▲7.7	▲8.7	2.4	▲0.7	▲1.6	▲1.5	▲8.9	▲11.1

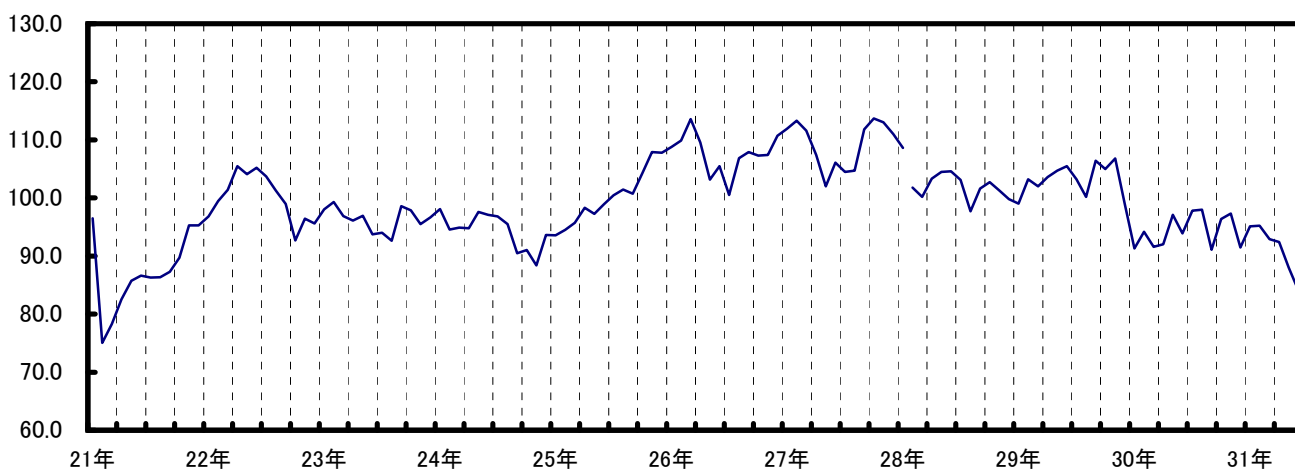
\*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

8 月 = 100.9

(平成27年=100)

\*前 月 比: 0.3%下落

\*前年同月比: 0.9%下落

#### <概 況>

8月の国内企業物価指数は100.9となり、前月比は0.3%の下落となった。また、前年同月比は0.9%の下落となった。

#### <最近の動き>

	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月	8月
国内企業物価指数	100.9	101.2	101.5	101.8	101.7	101.2	101.2	100.9
前 月 比 (%)	▲ 0.5	0.3	0.3	0.3	▲ 0.1	▲ 0.5	0.0	▲ 0.3
前年同月比 (%)	0.6	0.9	1.3	1.2	0.6	▲ 0.1	▲ 0.6	▲ 0.9

\*平成27年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

7 月 = 135,675億円

(銀行、信用金庫)

\*前 月 比: 0.2%減

\*前年同月比: 1.9%減

#### <概 況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は135,675億円で、前月比は0.2%の減少となった。また、前年同月比は1.9%の減少となった。

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
貸出残高(億円)	138,841	137,565	137,331	138,361	136,078	135,374	136,062	135,675
前 月 比 (%)	1.0	▲ 0.9	▲ 0.2	0.8	▲ 1.7	▲ 0.5	0.5	▲ 0.2
前年同月比 (%)	▲ 1.9	▲ 1.5	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 2.2	▲ 2.4	▲ 2.4	▲ 1.9

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

7 月 = 1.794%

(県内地銀4行総平均)

\*前 月 差: 0.019ポイント減

\*前年同月差: 0.224ポイント減

#### <概 況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.794%で、前月から0.019ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.224ポイントのマイナスとなった。

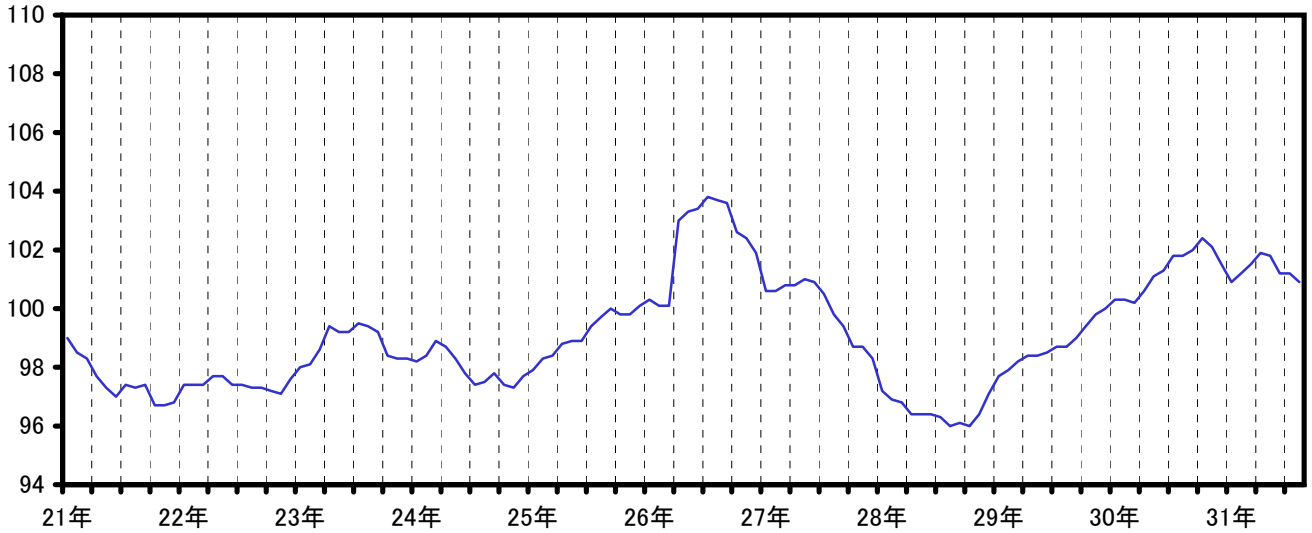
	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
貸出約定金利(%)	1.925	1.920	1.909	1.885	1.844	1.833	1.813	1.794
前月差(ポイント)	▲ 0.027	▲ 0.005	▲ 0.011	▲ 0.024	▲ 0.041	▲ 0.011	▲ 0.020	▲ 0.019
前年同月差(ポイント)	▲ 0.173	▲ 0.186	▲ 0.191	▲ 0.187	▲ 0.226	▲ 0.215	▲ 0.209	▲ 0.224

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

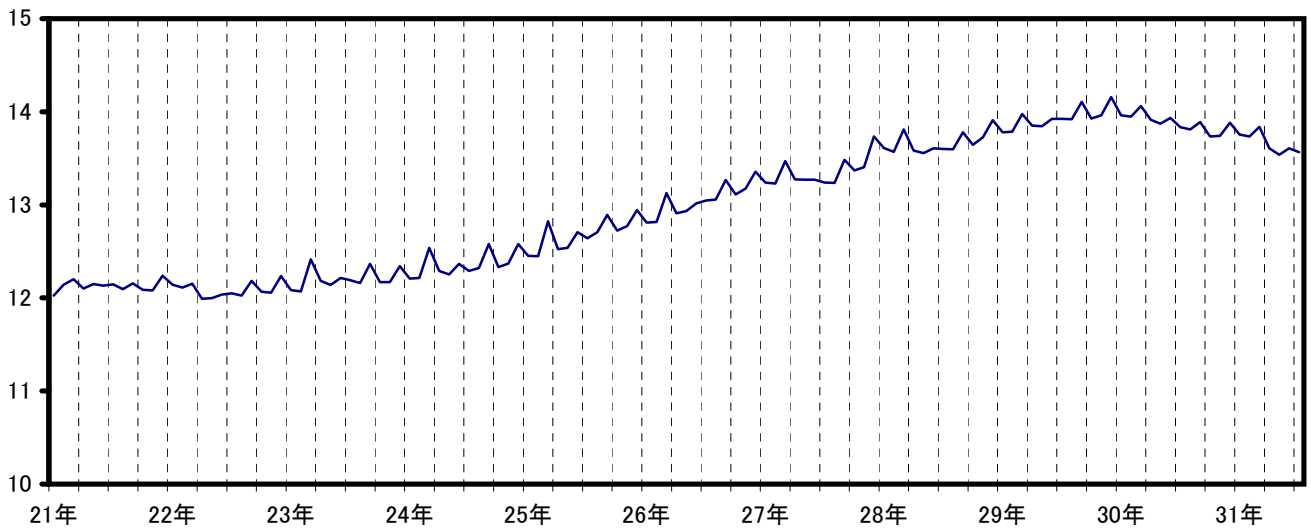
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



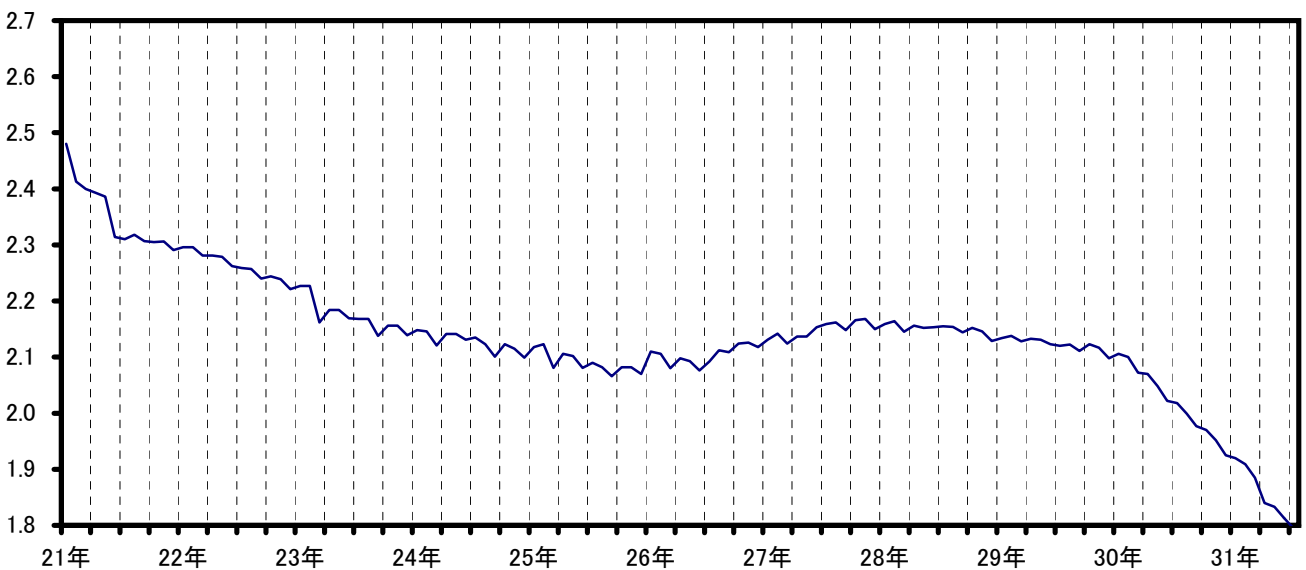
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****7月 = 15,500百万円**

\*前年同月比： 18.5%減

## &lt;概況&gt;

7月の保証承諾は、金額は15,500百万円（前年同月比 18.5%減）、件数は1,667件（同 13.2%減）と、いずれも9か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	30年12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
保証金額（百万円）	19,565	12,720	16,016	19,263	11,215	12,821	14,713	15,500
前年同月比（%）	▲ 16.3	▲ 6.7	▲ 7.5	▲ 20.2	▲ 7.2	▲ 28.7	▲ 19.8	▲ 18.5
保証件数（件）	1,889	1,340	1,593	1,927	1,339	1,406	1,545	1,667
前年同月比（%）	▲ 18.5	▲ 9.8	▲ 12.7	▲ 16.7	▲ 5.8	▲ 11.3	▲ 21.1	▲ 13.2

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****8月 = 106.27円/ドル**

\*前月差： 1.95円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

\*前年同月差： 4.79円高

## &lt;概況&gt;

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は106.27円で、前月と比べて1.95円の円高となり、2か月ぶりに円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月	8月
平均相場（円）	108.95	110.36	111.21	111.66	109.83	108.06	108.22	106.27
前月差（円）	▲ 3.50	1.41	0.85	0.45	▲ 1.83	▲ 1.77	0.16	▲ 1.95
前年同月差（円）	▲ 1.82	2.54	1.52	4.23	0.14	▲ 1.97	▲ 3.15	▲ 4.79

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****8月 = 12件**

\*前年同月比： 45.4%減

## &lt;概況&gt;

8月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は12件（前年同月比 45.4%減）と、前年同月比を下回り、負債総額は1,458百万円（同 37.3%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が11件と全体の91.7%を占め、261か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

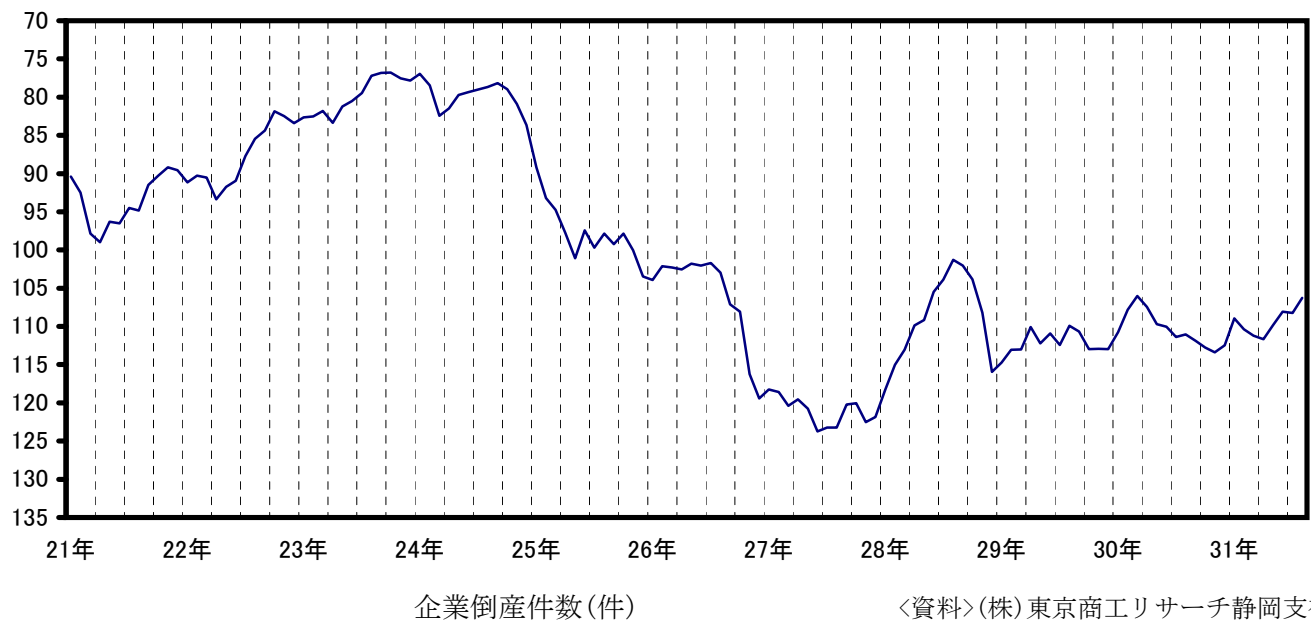
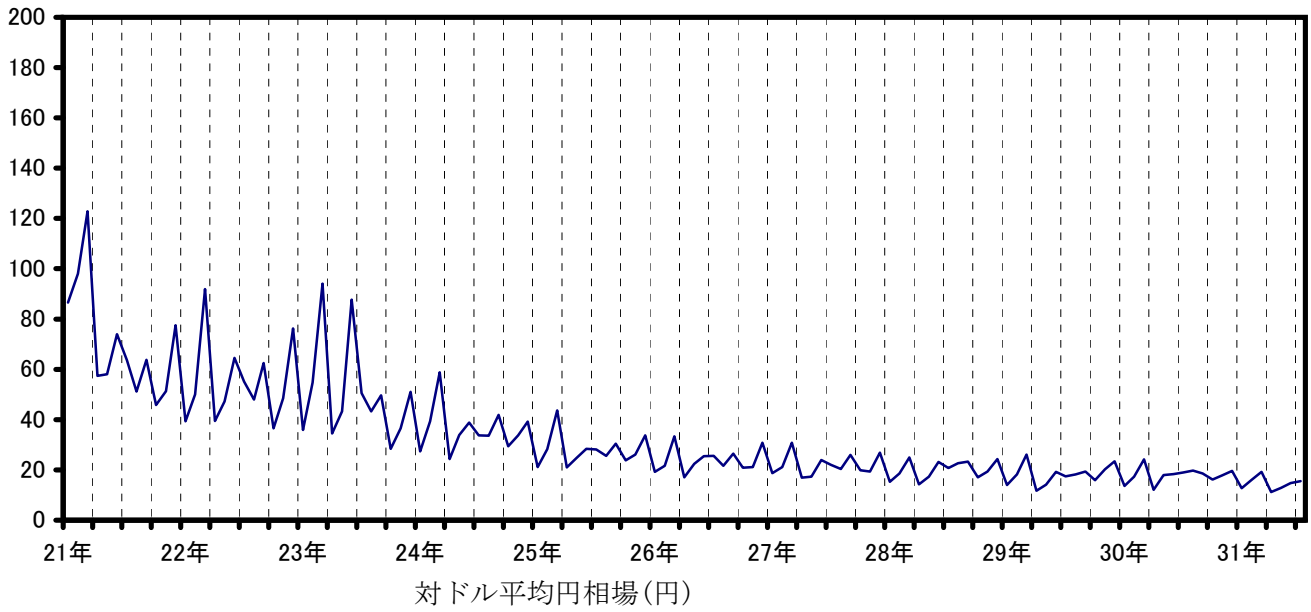
	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月	8月
倒産件数（件）	15	12	12	16	17	14	29	12
前年同月比（%）	▲ 16.6	▲ 45.4	▲ 53.8	33.3	▲ 29.1	▲ 48.1	81.2	▲ 45.4
うち不況型倒産件数(件)	15	9	12	15	14	12	26	11
負債総額（百万円）	1,235	1,495	4,320	2,457	1,847	3,193	3,911	1,458
前年同月比（%）	▲ 47.8	▲ 44.3	40.9	16.2	▲ 39.7	▲ 40.2	86.3	▲ 37.3

&lt;資料&gt;(株)東京商工リサーチ静岡支社

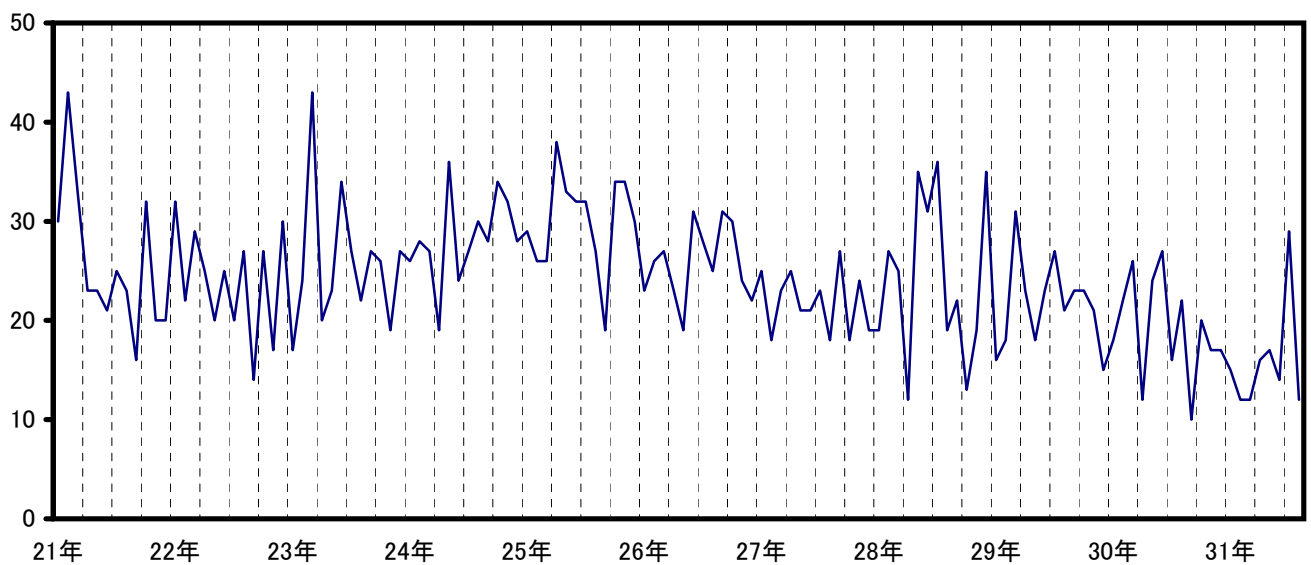
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 令和元年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>6月の国内二輪車生産台数は、43,303台（前年同月比21.4%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、13,490台（同0.5%）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,262台（同45.0%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、7,039台（同6.8%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、19,512台（同30.4%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、31,996台（同0.6%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。輸出向けは、27,002台（同29.7%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>6月の自動車国内生産台数は、810,188台（前年同月比1.5%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。輸出は415,389台（同0.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、トラックがいずれも3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>7月の冷蔵庫の国内出荷額は459億円（前年同月比6.0%減）で、6か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は388千台（同13.3%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>7月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,227千台（同30.4%減）で、18か月ぶりに前年実績を下回った。業務用は101千台（同3.8%増）で、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>7月の携帯電話の国内出荷台数は、1,019千台（同9.2%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、622千台（同16.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は61.0%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>7月の工作機械の受注総額は、1,012億7,800万円（前年同月比33.0%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は601億700万円（同28.2%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが224億6,300万円（同36.0%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。内需は411億7,100万円（同38.9%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「米中貿易摩擦の関係から、中国経済が予想以上に大きく落ち込んでいることに伴い、仕事量が減少してきていて、先の見通しが不透明。」という声や「材料費を含める受注が増える傾向にあり、材料費価格が高いため利益率が低下している。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>7月の県内楽器メーカーの販売金額は、50億1,508万円（前年同月比 8.4%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが28億1,941万円（同 2.8%増）で、国内向けが21億9,567万円（同16.6%増）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,480台（同14.3%増）だった。機種別では、アップライトピアノが2,275台（同13.3%増）、グランドピアノが1,205台（同16.2%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,435台（同 4.9%増）、国内向けが1,174台（同36.4%増）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>7月の紙・板紙の国内出荷高は、2,045千トﾝ（前年同月比 1.2%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は1,053千トﾝ（同 0.9%増）で、26か月ぶりに前年実績を上回った。板紙は992千トﾝ（同 1.5%増）と、3か月ぶりで前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、572千トﾝ（同 1.1%増）で、7か月ぶりに前年実績を上回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、154千トﾝ（同10.3%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った*1。</p> <p>*1先月は速報値により2か月連続で増加したと発表したのが、確報値では、2か月ぶりに前年実績を下回ったに訂正された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>7月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,071千箱（前年同月比 7.6%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は684千箱（同 2.9%減）と3か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は536千箱（同 2.5%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は388千箱（同32.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,377千箱（同17.3%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>7月の広幅織物の県内生産は、1,096千㎡（前年同月比 3.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、998千㎡（同 5.5%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、98千㎡（同 20.4%増）で、22か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、24千㎡（同 12.3%減）で、16か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>7月の全国百貨店での家具販売額は、56億3,152万円（前年同月比 2.8%増）と3か月ぶりに前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、532億2,315万円（同 8.9%減）と16か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>



業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>6月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,195百万円（既存店前年同月比2.0%減）と前年実績を下回った。品目別に見ると、家庭用品を除く全ての品目で前年同月の売上げを下回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、低気温や雨の影響で夏物の衣料品、身の回り品の売上げが伸び悩み、全体としての売上げが昨年同月を下回った。近年の流れとして、カジュアル化による紳士服（スーツ、ジャケット）の販売が落ち込んでいることと、中元文化の衰退が挙げられる。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、精肉・鮮魚の売上げが前年同月を下回ったものの、催事を中心とする惣菜・弁当類が好調で、全体としては売上額・客単価が前年同月を上回った。クレジットカードによる支払いが増加しており、全体のおよそ2割を占める。</p> <p>東部の食品スーパーへの聞き取りによると、オーバーストアの傾向が強くなり、昨年末から売上げが右肩下がりであり、今月も昨年同月の売上げを下回った。特に周辺ドラッグストアとの競合は激しく、売上げ・来客数ともに伸び悩みが続いている。西部の聞き取り店舗とは対照的に、現金で決済した場合にポイントがつくポイントカードの利用率が上昇している。キャッシュレスに抵抗感を持つ高齢者に好んで使われるようである。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和元年7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約30万人で、前年同月比6.0%増だった。</p> <p>県立美術館や浜松市動物園では、展示企画が好評であり、全体として入込客数は前年度に比べて増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）の合計通行車両数は、約73万台となり、前年同月に比べて3.4%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## = IVデータからみた県内主要産業 =

### <二輪車>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	26,209	24,560	24,286	25,212	21,861	18,909	18,538	17,742	22,023
前年同月比(%)	56.1	79.2	84.4	20.6	12.7	16.5	30.2	15.1	72.3
KD輸出額(百万円)	743	754	765	816	795	863	1,168	931	1,528
前年同月比(%)	22.5	42.0	41.9	25.4	54.2	14.7	103.6	63.2	159.4

### <楽器>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
生産総額(百万円)	3,348	2,952	2,812	3,032	3,150	3,308	3,192	3,151	3,617
前年同月比(%)	0.4	▲10.5	10.9	4.4	2.5	6.4	1.1	▲0.9	13.5

### <缶詰>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
食缶生産高(千ケース)	1,034	949	925	891	1,008	1,001	890	946	1,071
前年同月比(%)	4.2	6.1	14.8	1.4	0.0	5.8	▲7.3	▲1.8	7.6
うち水産缶詰(%)	2.5	7.0	18.8	0.5	0.7	5.9	▲9.1	▲7.8	▲2.9
農畜産缶詰(%)	8.5	4.2	5.3	3.3	▲1.2	5.5	▲3.2	11.9	32.8
飲料缶生産高(千ケース)	7,005	6,135	4,650	5,548	7,730	7,745	8,036	8,279	8,377
前年同月比(%)	10.4	11.3	▲0.9	6.8	11.2	12.7	0.1	12.0	17.3

### <繊維>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	1,718	1,639	1,532	1,392	1,358	1,278	1,206	1,163	1,096
前年同月比(%)	2.4	3.1	1.1	4.4	2.0	0.4	2.6	▲1.1	▲3.7
小幅織物(千㎡)	31	31	29	27	26	27	26	26	24
前年同月比(%)	▲5.4	▲6.4	▲7.5	▲22.6	▲24.9	▲12.7	▲14.8	▲7.3	▲12.3

### <観光>

	30年11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	R1年5月	6月	7月
観光施設(10施設)入込 (千人)	393	283	305	278	480	557	651	327	304
前年同月比(%)	5.2	12.5	6.6	5.6	▲6.3	8.2	21.4	8.4	6.0
有料道路(5路線)通行量 (千台)	738	730	675	667	780	719	760	659	726
前年同月比(%)	0.4	0.7	5.6	6.8	▲0.3	2.8	5.7	0.4	▲3.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

# 静岡県月例経済報告

令和元年9月号 通巻521号

発行 静岡県経済産業部  
令和元年9月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>